

サムシングホールディングス株式会社 (証券コード:1408) 2013年12月期 本決算説明会



平成26年2月19日(水)

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

I. 会社概要

II. 市場環境

III. 当社の取り組み

IV. 2013年12月期 本決算

V. 2014年12月期 計画

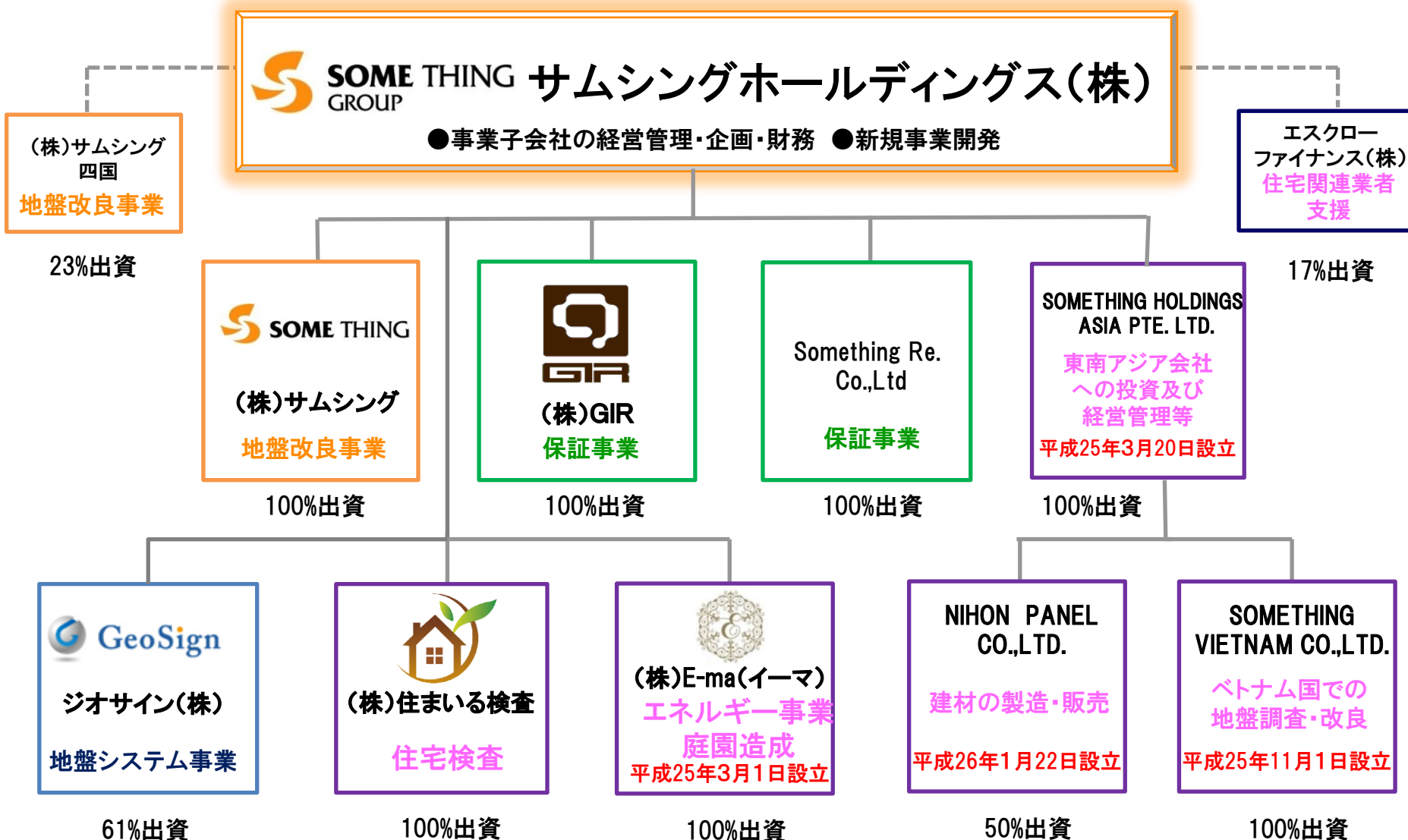
VI. 中期経営計画



I . 会社概要

【会社名】	サムシングホールディングス株式会社 (英文:Something Holdings Co., Ltd.)
【事業内容】	・地盤改良事業 ・保証事業 ・地盤システム事業 ・その他の事業(住宅検査、外構工事など)  証券コード:1408
【設立】	平成12年10月 (株式移転前の前身 株式会社サムシングは平成9年6月設立)
【資本金】	334,860千円(平成25年12月31日現在)
【発行済株式総数】	3,222,400株(平成25年12月31日現在)
【代表者】	代表取締役社長 前 俊守
【決算期】	12月31日
【本店所在地】	東京都中央区新川一丁目17番24号
【従業員数】	単体 11名(平成25年12月31日現在) 連結 325名(平成25年12月31日現在)

グループ概要



事業内容

セグメント	主な事業の内容	主な会社名
地盤改良事業	地盤調査 地盤改良 沈下修正 測量	(株)サムシング (株)GIR
保証事業	地盤保証 住宅完成保証	(株)GIR Something Re. Co.,Ltd
地盤システム事業	システムのレンタル・販売 電子認証サービスの提供	ジオサイン(株)
その他の事業	住宅検査 庭園造成 エネルギー事業 東南アジア事業会社への投資 及び経営管理等 ベトナム国での地盤調査・改良	(株)住まいる検査 (株)E-ma(イーマ) SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. SOMETHING VIETNAM. PTE. LTD. NIHON PANEL. PTE. LTD

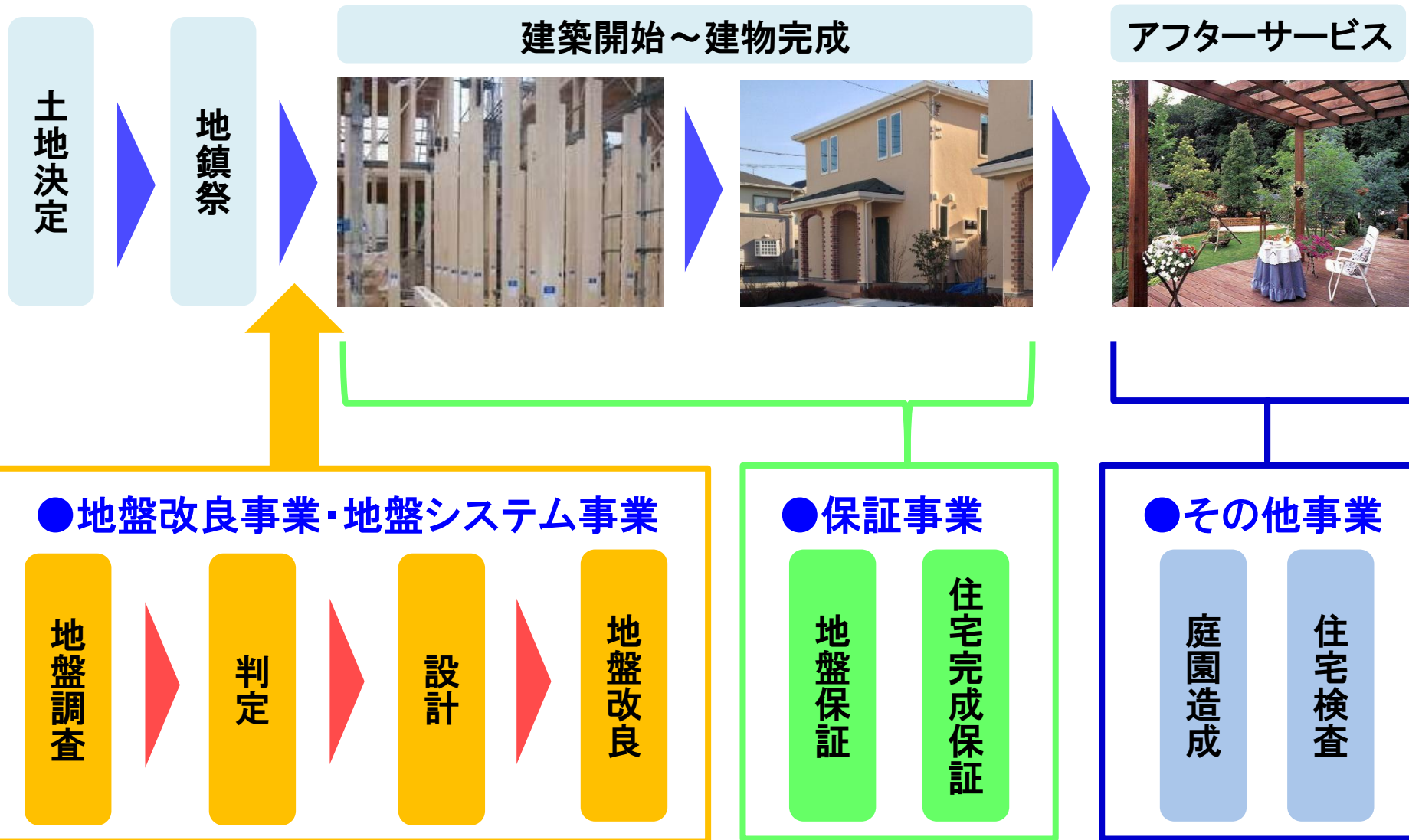
サムシンググループは、住宅地盤事業を中心とした

『価値創造事業グループ』

を目指します

サムシンググループは、住宅業界における付加価値サービスを創造し、グループのシナジーを原動力に企業成長を加速させます。

当社グループの事業



全自動式調査機と独自の認証システムの活用

当社独自の正確なデータ

スウェーデン式 サウンディング試験

全自動式のため
作業にバラツキが
ありません



G-Web System

電子認証により精度
の高いデータを提供



スウェーデン式サウンディング試験結果

管理番号					調査名				
調査住所					調査番号				

試験深度		5.28		m		調査時刻		13:48 ~ 14:00		調査者		KIM		0.18		m	
年 月 日		平成26年1月17日				緯度・経度		北緯: 東経:		埋 高		水位		確認できず		m	
シリアル番号		本体: 360086				制御装置		360086		試験装置		ジオカルテリウム		天候		晴	

貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	荷重 Fav (kN)	平均軸圧 Fav (kN)	1m当り 平均軸圧 Fav (kN)	注 記	荷重 Fav (kN)	貫入量1m当り 平均軸圧 Fav (kN)	推定 N値 N(40)	推定 N値 N(60)	推定 N値 N(80)	推定 N値 N(100)
0.25	25	1.00	1.0	4	無細粒砂連 無細粒急凍	15	50	35			
0.50	25	1.00	3.0	12		80	100	85	90	3.2	32
0.75	25	0.75	0	0						3.6	37
1.00	25	1.00	0	0						2.2	22
1.25	25	0.75	0	0						3.0	30
1.50	25	1.00	3.0	12					2.2	22	
1.75	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
2.00	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
2.25	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
2.50	25	1.00	2.0	8					3.4	34	
2.75	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
3.00	25	1.00	4.0	16					3.8	39	
3.25	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
3.50	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
3.75	25	1.00	4.0	16					3.8	39	
4.00	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
4.25	25	1.00	3.0	12					3.6	37	
4.50	25	0.75	0	0					2.2	22	
4.75	25	0.75	0	0					2.2	22	
5.00	25	0.75	0	0	ロッド目視				2.2	22	
5.25	25	1.00	136.0	544	ジャリジャリ 機打撃入				20.0	120	
5.28	3	1.00	36.0	1200	ジャリジャリ 6-8-11-A				20.0	120	

土質凡例

粘性土

粘性土

ローム

細粒土

粗粒土

※: 太枠内のデータが電子記録対象となります。

主な改良工法の紹介

柱状改良工法

セメントと土を混合して地中に改良体を形成する



鋼管杭工法

鋼管を用いることで施工品質が確保でき、
どの土にも適用可能



表層改良工法

地表面から2mまでが軟弱な場合に適用され、
セメントと土を混合して改良体を形成する



地盤保証
実績
6万棟以上

地盤総合保証サービス(ザ・ランド)

『THE LAND』

業界初

「THE LAND」の特長

- ①大手損害保険会社が引受保険会社となる
10年継続PL保険付地盤審査
- ②一事故5,000万円まで保証、てん補率は100%
- ③保証期間は基礎着工日から、引渡日より10年
- ④住宅瑕疵担保責任保険に伴う内容(把握困難な地質状況に起因する不同沈下は住宅瑕疵担保責任保険ではカバーされない)に対応
- ⑤一物件毎に付保証明書を発行
- ⑥ビルダーも被保険者として適応

THE LAND
NEXT

ザ・ランド ネクスト

(中古住宅売買時)5年間の地盤保証

- 地盤の修復費用も保証対象
- 一事故1,000万円まで保証てん補率は100%



THE LAND
plus

ザ・ランド プラス

地震補償保険付き地盤保証

- 査定は自治体発行の「り災証明書」が基準
- 一事故500万円まで保証

地震等が原因で発生した火災による損害はなんと、火災保険の補償の対象となっておりません！

地震保険の場合、火災保険の保険金額に対して保証されるのは30～50%!

G-Web System

＜独自のシステム＞

電子認証の活用

- ①不正、改ざん不可
- ②GPS(詳細な位置情報)
- ③タイムスタンプ(調査日時の記録)

▶ 「信頼性のある情報提供」



SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. (サムシングホールディングス アジア)

- 平成25年3月20日設立
- サムシングホールディングス 株式会社
100%子会社
- ベトナム等、東南アジアの事業会社への
投資及び経営管理等



SOMETHING VIETNAM CO.,LTD. (サムシング ベトナム)

- 平成25年11月設立
- SOMETHING HOLDINGS ASIA
PTE. LTD.100%子会社
- ベトナムでの地盤調査、
地盤改良工事



NIHON PANEL CO.,LTD. (日本パネル)

- 平成26年1月22日設立
- 住宅建材の製造及び販売等



太陽光発電設備工事

強みである地盤調査・改良を活かす

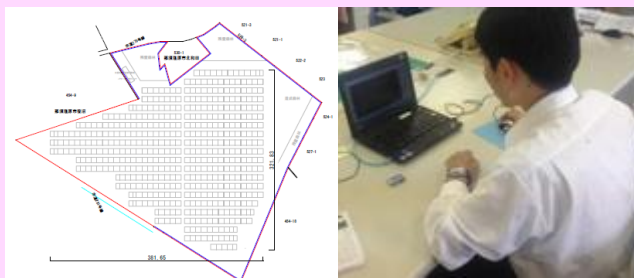
<工事の流れ>

地盤調査



設計

調査結果に基づき改良長等を決定



地盤改良



架台設置

改良体に架台を固定



太陽光パネル設置



完成



新築住宅用の検査

第三者検査機関として、
建築過程の品質検査を行います



既存(中古)住宅用の検査

既存住宅の購入を検討している
お客様のニーズに対応します



メンテナンス検査

住宅を維持・管理し資産としての
価値を持続させます



住宅サポートサービス

住宅に関する相談を建築のプロである
建築士が対応します





E-maのデザイン

「想像を超えた感動を」

経験豊富な設計者との綿密な打ち合わせにより、
一人一人の生活スタイルに合わせたデザインを提案いたします。

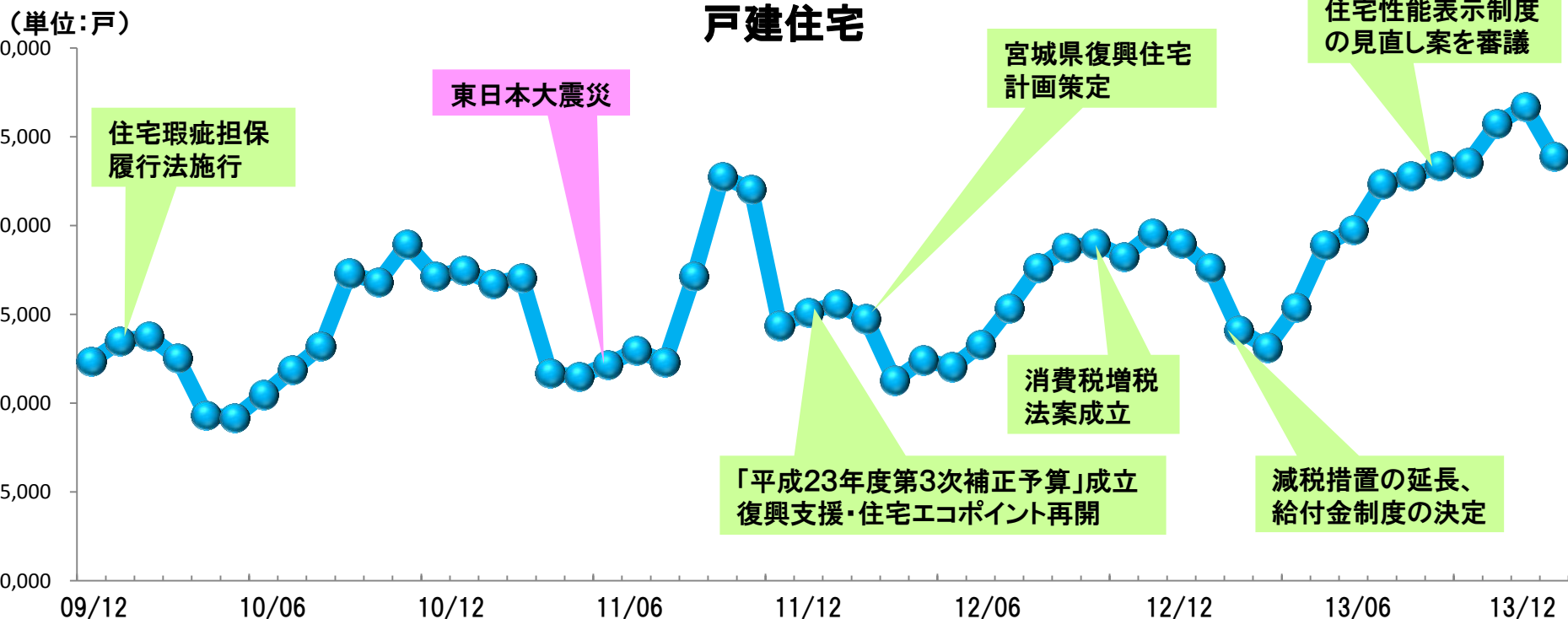




II. 市場環境

直近の新設住宅着工戸数推移

国土交通省の建築着工統計調査をもとに当社の会計期間に合わせております。



(単位:戸)	10/8月期	10/12月期 4ヶ月	※10/1月～12月	11/12月期	12/12月期	13/12月期	前年同期比 (%)
	09/9月～10/8月	10/9月～12月	10/1月～12月	11/1月～12月	12/1月～12月	13/1月～12月	
住宅着工戸数	788,180	290,743	813,126	834,117	882,797	980,025	+11.0
戸建住宅	399,321	148,441	415,579	422,424	434,179	489,660	+12.8

*2010年12月期より8月から12月に決算期を変更しております。

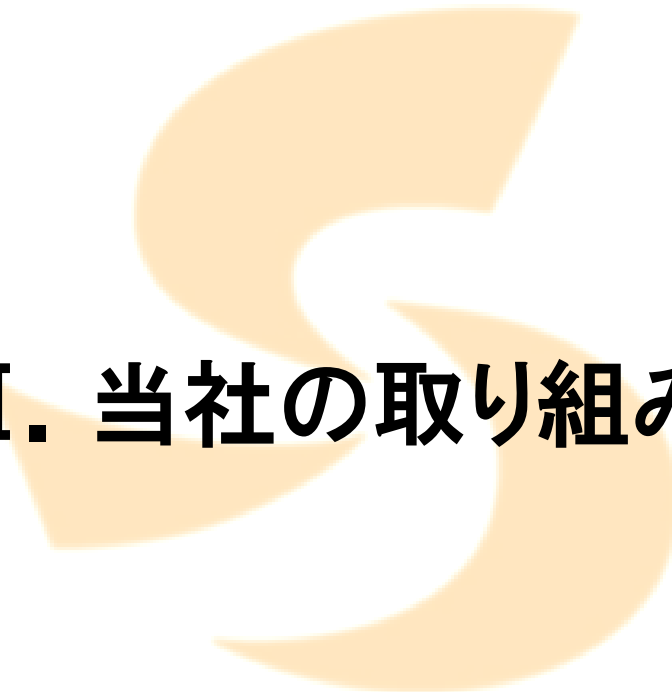
*戸建住宅とは、住宅着工戸数全体における、持家と分譲(一戸建)の着工戸数の合計

出所:建築着工統計調査(国土交通省)

市場環境一まとめ①

- 2009年6月 『長期優良住宅の普及促進に関する法律』の施行
フロー消費型からストック型へ
⇒耐久性、耐震性等を備えた質の高い住宅へ
- 2009年10月 『住宅瑕疵担保履行法』の施行
⇒瑕疵担保責任を確実に履行するため、資力確保措置(保険加入または供託)の事業者への義務付け等
- 2011年3月 東日本大震災
⇒建築物被害 全壊127,290戸、半壊272,788戸、一部破損747,989戸
(2014年2月10時点)
⇒千葉県浦安市における液状化被害等 約37,000世帯
- 2011年12月 宮城県復興住宅計画を策定
⇒平成27年まで約15,000戸の公営住宅を整備
- 2012年8月 消費税増税法案成立
⇒現行5%の消費税率を平成26年4月に8%、平成27年10月に10%に引き上げへ
⇒平成25年度は消費増税前の駆け込み需要の予測

- 2012年12月～ 日銀による異次元金融緩和政策
⇒消費マインドの改善による堅調な住宅着工数の推移
- 2013年1月 2012年度 国土交通省 税制改正
⇒平成25年度末に期限切れとなる住宅ローン減税の延期
⇒平成26年4月に住宅購入者向け給付金制度の導入の決定
- 2013年8月 住宅性能表示制度見直し案の審議(2015年4月の施行予定)
⇒液状化に関して把握されている情報を評価書の特記事項に記載できるようにする
- 2013年12月 平成25年度補正予算
⇒住宅取得に係る消費税負担増の緩和(すまい給付金)
- 2013年の住宅着工戸数は、4年連続の増加
 - ◆住宅着工戸数 980,025戸 (前年比 11.0%増、4年連続の増加)
 - ◆持家住宅は 354,772戸 (前年比 13.9%増、4年連続の増加)
 - ◆分譲住宅(一戸建て住宅)は 134,888戸 (前年比 10.0%増、4年連続の増加)



Ⅲ. 当社の取り組み

住宅市場動向と当社の取り組み

住宅市場動向

低コスト重視

東日本大震災

- 液状化による建物沈下被害の発生
- 太陽光発電の需要増加

地盤に対するニーズの2極化

- ①**高品質**
- ②**低コスト**

住環境の変化

デザイン・設備・安全性を重視する傾向

新興国の経済成長

2011年
3月

2013年
3月

2013年
8月

- 生産性の向上
スウェーデン式
サウンディング試験
- 高効率な工法の開発
NSVコラム工法等

- 太陽光発電設備工事
太陽光パネル設置時に
おける地盤調査・改良の
需要発生

●外構工事
株式会社 E-ma

●海外事業(シンガポール)
SOMETHING HOLDINGS
ASIA PTE. LTD.

- 沈下修正工法
混合2液回転噴射装置
- 液状化対策の実施
バイブロドリル式
ボーリングマシンの開発
エコジオ工法

- 正確な地盤調査(ボーリング)
の低コスト化
バイブロドリル式ボーリングマシン
- 高品質な地盤改良
STK-W工法、くし兵衛工法など

●海外事業(ベトナム)
SOMETHING VIETNAM
CO.,LTD.
NIHON PANEL CO.,LTD.

当社の取り組み

バイブロドリル式ボーリングマシン

特許
第5021104号
取得

東日本大震災により、液状化対策のニーズが高まった

- 土質と水位を正確に識別
- マシンの開発による自動化
→工期の短縮が可能
→低コスト化



土を探ることができる! 今までの地盤調査では不可能だった土質の判別が可能

土質の判別が可能
地下水位をはかることができる! 今までの地盤調査では不明確だった地下水位の測定が可能

地下水位を把握
土の大きさはかることができる! 細粒分含有試験など物理試験が可能

土質試験が可能

戸建住宅における液状化対策を可能にした

エコジオ工法

特徴

1. 液状化抑制効果
2. 強度・品質が長期的に変わらない
3. CO2排出削減に貢献



当社グループが開発した改良工法①

NSVコラム工法

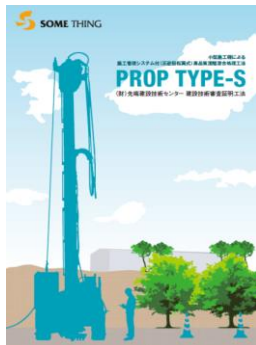
攪拌翼の上面からセメントを吐出する工法
建設技術審査証明(BCJ-審査証明-149)

特許
第4072968号
取得



PROP TYPE-S

地盤内に直径1,000mmの柱状改良体を築造する工法
財団法人先端建築技術センター技術審査証明
(技審証第2201号)



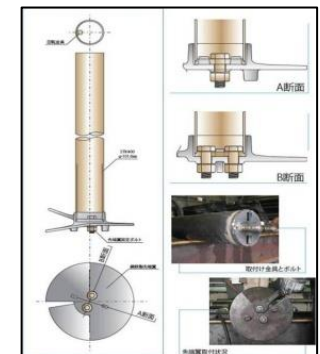
HITSコラム工法

経済的で高品質な柱状改良工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第08-03号)



DM(ダブルメタル)工法

施工性に優れており、工期が短く、ローコストな工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第10-01号)



当社グループが開発した改良工法②

コラムZ工法

改良径 ϕ 1000,1200を用い、大型物件に対応した
工法建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-26号)

改良径 ϕ 600

改良径 ϕ 1200

(大きさ比較)



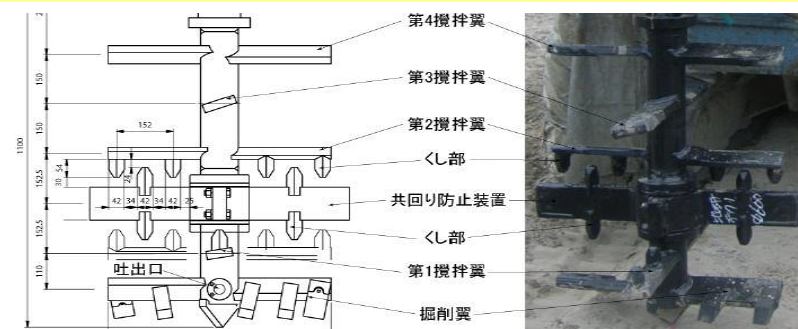
STK-W工法

改良体の2本同時掘削攪拌装置により工期短縮を
実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-33号)



くし兵衛工法

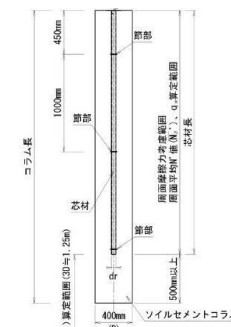
共回り防止翼と攪拌翼に突起を設けた掘削攪拌
装置を開発
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-03号)



しん兵衛工法

改良体と芯体を一体化させることで剛性と耐性の
向上を実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-04号)

※鋼管とセメントが
一体となった改良体



※当社は、2010年12月期より決算日を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2010年12月期は9月1日から12月31日までの4ヶ月となっております。



IV. 2013年12月期 本決算

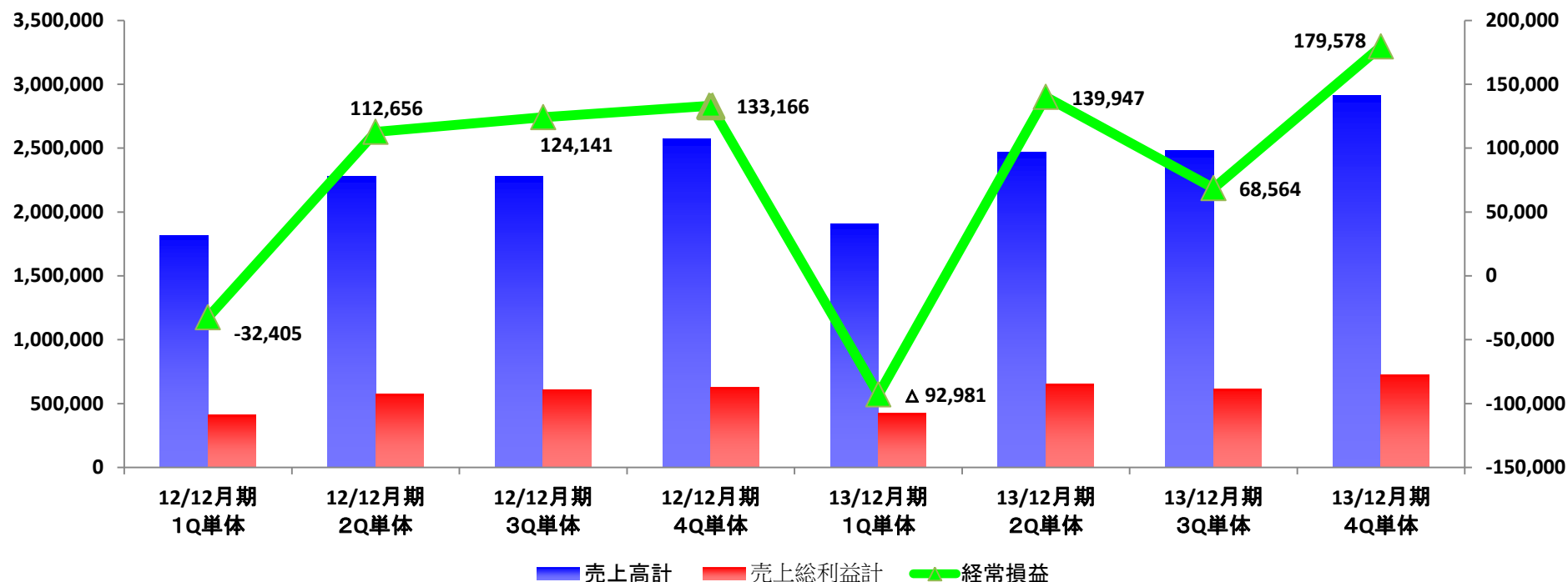
※注記

2010年1月～12月の期間数値は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

四半期業績の推移

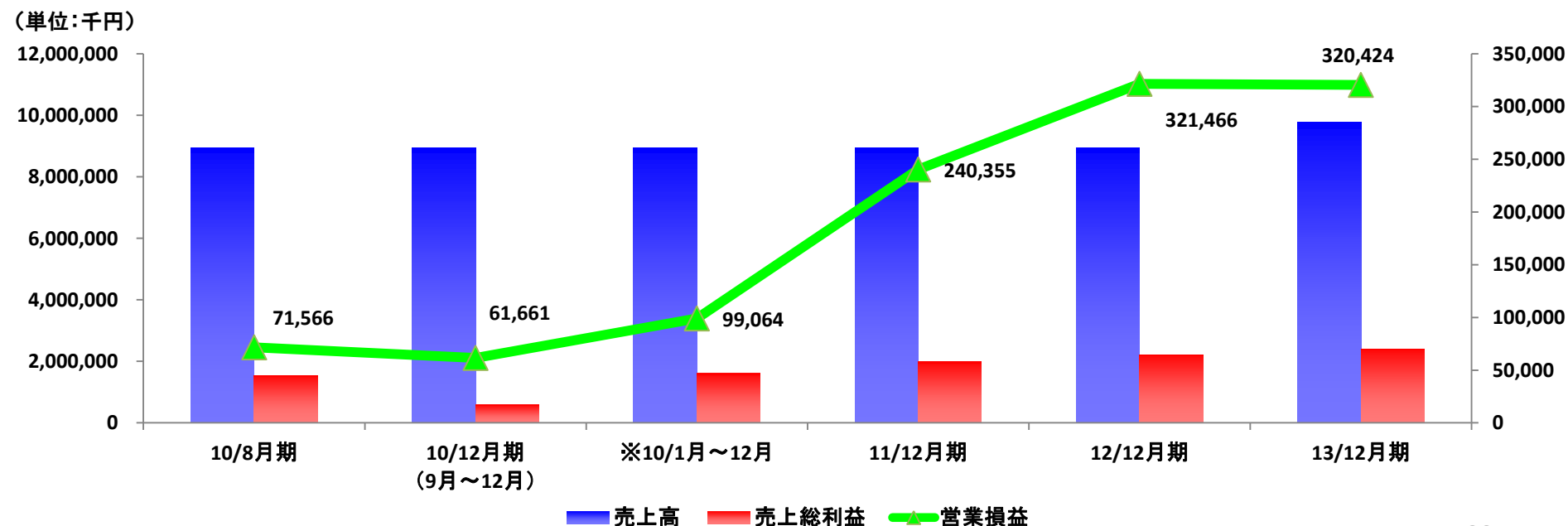
(単位:千円)	12/12月期 1Q	12/12月期 2Q	12/12月期 3Q	12/12月期 4Q	13/12月期 1Q	13/12月期 2Q	13/12月期 3Q	13/12月期 4Q
売上高	1,816,736	2,280,394	2,278,880	2,570,928	1,905,917	2,467,236	2,480,138	2,913,013
売上総利益	408,297	574,804	609,697	623,955	421,443	651,316	612,503	722,836
営業損益	△ 39,585	93,091	131,069	136,890	△ 88,090	145,481	77,912	185,120
経常損益	△ 32,405	112,656	124,141	133,166	△ 92,981	139,947	68,564	179,578
四半期純損益	△ 20,344	65,038	72,315	76,717	△ 60,662	76,417	34,612	102,361

(単位:千円)



連結損益計算書

(単位:千円)	10/8月期 累計	比率 (%)	10/12月期 累計 (4ヶ月間)	比率 (%)	※10/ 1月～12月	比率 (%)	11/12月期 累計	比率 (%)	12/12月期 累計	比率 (%)	13/12月期 累計	比率 (%)	増減 (千円)	前年同 期比 (%)
売上高	5,515,866	100	2,167,196	100	5,874,174	100	7,573,475	100	8,946,939	100	9,766,306	100	819,367	+9.2
売上原価	3,966,672	71.9	1,577,892	72.8	4,266,915	72.6	5,585,512	73.8	6,730,185	75.2	7,358,205	75.3	628,020	+9.3
売上総利益	1,549,193	28.1	589,303	27.2	1,607,259	27.4	1,987,963	26.2	2,216,753	24.8	2,408,101	24.7	191,348	+8.6
販管費	1,477,627	26.8	527,642	24.3	1,516,056	25.8	1,747,607	23.1	1,895,286	21.2	2,087,676	21.4	192,390	+10.2
営業損益	71,566	1.3	61,661	2.8	99,064	1.7	240,355	3.2	321,466	3.6	320,424	3.3	△1,042	△0.3
経常損益	43,662	0.8	56,827	2.6	72,535	1.2	207,492	2.7	337,559	3.8	295,109	3.0	△42,450	△12.6
当期純損益	△ 3,597	△ 0.1	24,334	1.1	23,034	0.4	153,436	2.0	193,727	2.2	152,728	1.7	△40,999	△21.2



連結貸借対照表

(単位:千円)	10/8月期	10/12月期	11/12月期	12/12月期	13/12月期	前年同期比(%)
流動資産	2,140,409	2,443,353	3,265,285	3,497,871	3,857,561	+10.3
固定資産	600,195	589,647	687,358	849,673	1,127,757	+32.7
資産合計	2,740,605	3,033,001	3,952,644	4,347,544	4,985,318	+14.7
流動負債	1,399,942	1,632,232	2,328,323	2,347,535	2,687,274	+14.5
固定負債	591,520	627,192	688,195	868,530	1,014,451	+16.8
負債合計	1,991,463	2,259,425	3,016,518	3,216,066	3,701,725	+15.1
純資産合計	749,142	773,575	936,125	1,131,478	1,283,592	+13.4

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	10/8月期	10/12月期	11/12月期	12/12月期	13/12月期	増減 (千円)
営業CF	17,300	100,841	97,275	286,774	535,517	248,743
投資CF	△122,078	△111,435	△27,316	△117,977	△146,061	△28,084
財務CF	△26,227	93,843	133,962	△112,641	△95,710	208,351
現金同等物増減	△131,006	83,249	203,921	56,155	294,728	237,590
現金同等物期首残高	655,921	543,335	626,585	830,507	886,662	56,155
現金同等物残高	543,335	626,585	830,507	886,662	1,181,391	294,729

営業活動によるキャッシュフロー(千円)		投資活動によるキャッシュフロー(千円)		財務活動によるキャッシュフロー(千円)	
減価償却費	244,456	定期預金の預入による支出	△6,029	短期借入金の増減額(△は減少)	54,332
貸倒引当金の増減額(△は減少額)	△12,697	有形固定資産の取得による支出	△120,551	長期借入れによる収入	590,000
支払利息	1,596	無形固定資産の取得による支出	△17,074	長期借入金の返済による支出	△510,471
売上債権の増減額(△は増加額)	△68,476	貸付けによる支出	△1,500	社債の償還による支出	-99,600
仕入債務の増加額(△減少額)	129,885	敷金の差入による支出	△15,029	ファイナンス・リース債務の返済による支出	△120,569
利息の支払額	△31,492				
法人税等の支払額	△80,140				

セグメント別売上高

		10/8月期		※10/12月期 (4ヶ月間)		※10/ 1月～12月		11/12月期		12/12月期		13/12月期		前年 同期比 (%)
セグメント	項目	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
地盤改良事業	売上高	5,248,872	100	2,065,269	100	5,577,661	100	7,242,751	100	8,612,401	100	9,331,192	100	8.3
	売上原価	3,789,671	72.2	1,502,153	72.7	4,068,182	72.9	5,360,551	74.0	6,503,629	75.5	7,064,483	75.7	8.6
	売上総利益	1,459,200	27.8	563,116	27.3	1,509,478	27.1	1,882,199	26.0	2,108,771	24.5	2,266,708	24.3	7.5
保証事業	売上高	111,600	100	36,600	100	116,249	100	126,724	100	180,398	100	201,375	100	11.6
	売上原価	85,779	76.9	27,897	76.2	89,188	76.7	79,416	62.7	76,620	42.5	77,905	38.7	1.7
	売上総利益	25,821	23.1	8,702	23.8	27,060	23.3	47,307	37.3	103,778	57.5	123,470	61.3	19.0
地盤システム 事業	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—	91,418	100	129,932	100	42.1
	売上原価	—	—	—	—	—	—	—	—	107,996	—	154,119	—	42.7
	売上総利益	—	—	—	—	—	—	—	—	△16,578	—	-24186	—	45.9
その他の事業	売上高	155,393	100	65,327	100	180,265	100	204,000	100	62,719	100	103,805	65.5	65.5
	売上原価	91,221	58.7	47,841	73.2	109,544	60.8	145,544	71.3	41,938	66.9	61,697	59.4	47.1
	売上総利益	64,172	41.3	17,485	26.8	70,720	39.2	58,455	28.7	20,781	33.1	42,108	40.6	102.6
合計	売上高	5,515,866	100	2,167,196	100	5,874,174	100	7,573,475	100	8,946,939	100	9,766,306	100	9.2
	売上原価	3,966,672	71.9	1,577,892	72.8	4,266,915	72.6	5,585,512	73.8	6,730,185	75.2	7,358,205	75.3	9.3
	売上総利益	1,549,193	28.1	589,303	27.2	1,607,259	27.4	1,987,963	26.2	2,216,753	24.8	2,408,101	24.7	8.6

地盤改良事業売上内訳

(単位:千円)	10/8月期	比率 (%)	10/12月期 (4ヶ月間)	比率 (%)	※10/ 1月～12月	比率 (%)	11/12月期	比率 (%)	12/12月期	比率 (%)	13/12月期	比率 (%)	前年 同期比 (%)
地盤改良工事	4,265,522	81.3	1,576,974	76.4	4,439,584	79.6	6,038,769	83.4	7,219,469	83.8	7,851,980	84.0	+8.8
調査・測量	903,583	17.2	339,072	16.4	983,909	17.6	1,093,716	15.1	1,327,964	15.4	1,409,536	15.1	+6.1
その他	79,766	1.5	149,223	7.2	154,167	2.8	110,266	1.5	64,967	0.8	85,013	0.9	+30.9
合計	5,248,872	100	2,065,269	100	5,577,661	100	7,242,751	100	8,612,401	100	9,346,533	100	+8.5

- 新規事業、太陽光発電設備工事
- 当社開発のバイブロドリル式ボーリング

(単位:千円)	13/12期
太陽光発電設備工事	333,583
バイブロドリル式ボーリングマシン	37,738

(件数)	10/8月期 累計	10/12月期 累計 (4ヶ月間)	※10/1月～12月	11/12月期	12/12月期	13/12月期	前年同期比 (%)
地盤改良工事	7,344	2,714	7,420	9,608	11,086	11,380	+2.7
調査・測量	18,605	7,537	20,773	26,263	27,352	30,106	+10.1

(件数)	10/8月期	10/12月期 (4ヶ月間)	※10/ 1月～12月	11/12月期	12/12月期	13/12月期	前年同期比 (%)
THE LAND件数	8,967	3,252	9,338	10,535	13,674	14,554	+6.4
認定店経由	3,317	1,233	3,610	4,296	4,866	5,643	+16.0
サムシング経由	5,738	1,908	5,728	6,228	7,550	7,339	△2.8
その他	—	—	—	11	1,258	1,572	+25.0
認定店比率	37.0%	37.9%	38.7%	40.8%	35.6%	38.8%	+9.0
認定店数	73	72	76	83	95	96	+1.1

認定店とは・・・

- 当社子会社GIRの地盤専門講習を受講した地盤関連会社(調査・改良会社)
- フルオートのSS調査機での利用義務及び指定の施工管理装置を利用

計画実績対比

(単位:千円)	13/12月期 (計画)	13/12月期 (実績)	差異	計画比 (%)	主な要因
売上	9,770,000	9,766,306	△3,694	△0.1	
(地盤改良事業)	9,317,000	9,331,192	14,192	+0.2	
(保証事業)	197,000	201,375	4,375	+2.2	地盤総合保証「THE LAND」販売増加
(地盤システム事業)	135,000	129,932	△5,068	△3.8	調査機等の販売減少
(その他の事業)	121,000	103,805	△17,195	△14.2	新規事業の売上未達
売上原価	7,322,000	7,358,205	36,205	+0.5	
(地盤改良事業)	7,012,000	7,064,483	52,483	+0.7	
(保証事業)	78,000	77,905	△95	△0.1	
(地盤システム事業)	155,000	154,119	△881	△0.6	
(その他の事業)	77,000	61,697	△15,303	△19.9	外注費の削減
売上総利益	2,448,000	2,408,101	△39,899	△1.6	
(地盤改良事業)	2,305,000	2,266,708	△37,292	△1.7	材料費の増加
(保証事業)	119,000	123,470	5,470	+3.8	THE LAND件数増加
(地盤システム事業)	△20,000	△24,186	△4,186	△17.3	調査機等の販売減少
(その他の事業)	44,000	42,108	△1,892	△4.3	新規事業の売上未達
販管費	2,118,000	2,087,676	△30,324	△1.4	諸経費の削減
営業損益	330,000	320,424	△9,576	△2.9	売上高の減少及び販管費の削減
営業外収益	8,000	8,533	533	+6.7	持分法に伴う収益の発生
営業外費用	43,000	33,848	△9,152	△21.2	支払利息の削減
経常損益	295,000	295,109	109	+0.1	営業外損益の改善
当期純損益	160,000	152,728	△7,272	△4.5	法人税の減少

2013年

2月

●コラムZ工法の開発(株)サムシング)
建築技術性能証明(GBRC—性能証明 第12—26号)

3月

●STK-W工法の開発(株)サムシング)
建築技術性能証明(GBRC—性能証明 第12-33号)

●株式会社 E-ma(イーマ)設立

●SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD. 設立

4月

●くし兵衛工法の開発(株)サムシング)
建築技術性能証明(GBRC—性能証明 第13—03号)

●しん兵衛工法の開発(株)サムシング)
建築技術性能証明(GBRC—性能証明 第13—04号)

5月

●三重支店の出店(株)サムシング)

11月

●SOMETHING VIETNAM CO., LTD. を設立

●鋼管杭、複合杭及び複合杭の製造方法を特許登録

2014年

1月

●NIHON PANEL CO., LTD. を設立

●円筒体地中連行装置及びこれを用いた円筒体地中連行方法を特許登録

鋼管杭、複合杭及び複合杭の製造方法の特許証



【新聞】

掲載日:7月29日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

新聞名:日本経済新聞

内 容:『起業の軌跡』

出演者:代表取締役社長 前 俊守

掲載日:8月20日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

新聞名:日経産業新聞

内 容:海外事業

掲載日:9月5日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

新聞名:日経産業新聞

内 容:海外事業

【雑誌】

掲載月:2月

会社名:株式会社 サムシング

雑誌名:建築技術

掲載月:7月

会社名:株式会社 サムシング

雑誌名:HOUSING

【メディア】

放送日:2月13日、14日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:KBS京都、J:COM『もらえどとTV』

出演者:代表取締役社長 前 俊守



放送日:6月18日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:ラジオNIKKEI

「ザ・マネー～火曜日は櫻井英明のかぶとびら」

出演者:代表取締役社長 前 俊守

放送日:8月21日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:ラジオNIKKEI 『アサザイ』

出演者:代表取締役社長 前 俊守

放送日:11月15日

会社名:サムシングホールディングス 株式会社

番組名:日経CNBC『アクロス・ザ・マーケット』

出演者:代表取締役社長 前 俊守



V. 2014年12月期 計画

計画損益計算書

(単位:千円)	13/12月期 (実績)	14/12月期 (計画)	差異	前年 同期比(%)
売上	9,766,306	11,922,000	2,155,694	+22.1
(地盤改良事業)	9,331,192	11,046,000	1,714,808	+18.4
(保証事業)	201,375	212,000	10,625	+5.3
(地盤システム事業)	129,932	127,000	△2,932	△2.3
(その他の事業)	103,805	535,000	431,195	+415.4
売上原価	7,358,205	9,116,000	1,757,795	+23.9
(地盤改良事業)	7,064,483	8,463,000	1,398,517	+19.8
(保証事業)	77,905	79,000	1,095	+1.4
(地盤システム事業)	154,119	140,000	△14,119	△9.2
(その他の事業)	61,697	433,000	371,303	+601.8
売上総利益	2,408,101	2,805,000	396,899	+16.5
(地盤改良事業)	2,266,708	2,582,000	315,292	+13.9
(保証事業)	123,470	133,000	9,530	+7.7
(地盤システム事業)	△24,186	△12,000	12,186	△50.4
(その他の事業)	42,108	101,000	58,892	+139.9
販管費	2,087,676	2,465,000	377,324	+18.1
営業利益	320,424	340,000	19,576	+6.1
営業外収益	8,533	1,000	△7,533	△88.3
営業外費用	33,848	33,000	△848	△2.5
経常利益	295,109	308,000	12,891	+4.4
当期純利益	152,728	144,000	△8,728	△5.7

設備投資計画

(単位:千円)		13/12月期 (実績)	14/12月期 (計画)	前年同期比 (%)
設備投資額	固定資産取得	507,561	509,500	+0.4
	新規リース契約	148,044	63,500	△57.1
	合計	655,605	573,000	△12.6
減価償却費		245,435	329,300	+34.2
リース料		141,414	175,800	+24.3



VI. 中期経営計画

■中期ビジョン

サムシンググループは
『価値創造事業グループ』を目指します

- 既存事業の収益力強化、及び収益確保
- エネルギー事業、海外事業での売上の拡大
- 最先端の技術開発を行います

■中期テーマ

『グローバル企業への成長』

地域密着でお客様の要望に、お応えし、
最先端の技術開発、グローバルな海外進出にて、
グローバルとローカルを併せ持つ企業へ成長します。

＜地盤改良事業＞

- 地域特性に応じた営業、設計、開発調査、施工による収益体質の強化
- 持続的成長を企図した大型案件と環境配慮型工法の受注拡大体制の構築と推進

＜保証事業＞

- 宅地造成及び宅地造成に伴う構造物に対して、調査から基礎までのコンサルタント業を確立し、宅地造成時のコスト低減を提案する。
- 保証に関する新商品の開発及び認定店サービスの強化により保証事業の新規事業者の開拓と保証商品の拡販を行う。

＜地盤システム事業＞

- 大手地盤調査業者・大手ハウスメーカーとのシステム連携によるG-Webシステムの拡販
- 地盤改良写真の撮影機能及び施工データと施工写真データを送信できる機能を追加する

＜その他事業＞

- 「株式会社 住まいる検査」の顧客層の拡大
⇒検査のみならず改修・補強方法迄を提案できるコンサルティング検査の実施
- 太陽光発電設備工事の販売拡大
- 海外事業展開及び外構工事等の新規事業による企業成長の加速

2014年～2016年度 中期経営計画

(単位:百万円)	14/12月期 (計画)	15/12月期 (計画)	16/12月期 (計画)
売上	11,922	13,310	14,500
地盤改良事業)	11,046	12,105	12,907
(保証事業)	212	224	235
(地盤システム事業)	127	137	143
(その他の事業)	535	844	1,215
売上原価	9,116	10,077	10,939
(地盤改良事業)	8,463	9,200	9,780
(保証事業)	79	83	87
(地盤システム事業)	140	145	149
(その他の事業)	433	649	922
売上総利益	2,805	3,232	3,563
(地盤改良事業)	2,582	2,905	3,127
(保証事業)	133	140	147
(地盤システム事業)	△12	△8	△3
(その他の事業)	101	194	292
販管費	2,465	2,802	3,063
営業利益	340	430	500
営業外収益	1	2	2
営業外費用	33	38	42
経常利益	308	394	460
当期純利益	144	197	230

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

<http://www.sthd.co.jp>

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

氏名：笠原 篤

TEL：03-5566-5555

Mail：ir@sthd.co.jp